

C 赤坂コース

緑の街並みウォーキング

全長約4.2km 60分

1 : 7,000

0 100 200 300 400 500m



赤坂エリアの特長

舞鶴公園周辺は緑豊かな地域です。花の季節はもちろん、夏は深緑、秋は紅葉などが楽しめます。植物図鑑などを手に歩いてみませんか？



NEXT 散策ポイント

C 赤坂コース ルート散策ポイント

C-01 鴻臚館跡展示館

鴻臚館は古代に、外交使節を滞在させて接待する迎賓館として京都、大阪、福岡の3か所に設けられた施設で、その位置が特定されているのはここだけです。大陸との対外交渉の窓口、文化交流の窓口として重要な役割を担い、跡地からは中国産の陶磁器や西アジア系のイスラム陶器、ペルシャ系ガラス容器など、国際色豊かな遺物が多数出土しています。鴻臚館跡展示館では出土品の展示のほか、発掘された遺跡の上に覆屋を建て、礎石などの遺構を発見時のままの姿で公開しています。また北側にある旧平和会球場の南半部では、発掘調査により判明した、鴻臚館の建物や地形を平面表示しています。

【交通】地下鉄「赤坂」「大濠公園」下車徒歩8分
【住所】城内1【問い合わせ】☎721-0282
【利用時間】9:00～17:00
【休日】12月29日～1月3日



C-02 けやき通り

赤坂校区のメインストリートであるこの通りは、大きく両手を広げたケヤキに覆われた緑のトンネルです。新緑の季節には活発な木々から自然のエネルギーを感じます。



C-03 赤坂西緑地ふくろうの森

桜坂2丁目から赤坂3丁目一帯は、都心とは思えないほど豊かな緑が広がっています。響き渡る野鳥の声、うっそうとした木々、ツタの絡む石垣がタイムスリップさせてくれます。

【交通】西鉄バス「赤坂三丁目」下車徒歩5分
【住所】赤坂三丁目3



C-04 福岡城

福岡城は、黒田長政が慶長6(1601)年から7年かけて築城。黒田家はもともと備前福岡(現在の岡山県瀬戸内市)出身だったことから「福岡城」と命名されました。別名は舞鶴城。博多湾側から見た城の形が、空を舞う鶴の姿に似ていたからです。石垣に使われているのは玄武岩や花崗岩で、当時、福岡の海浜に残っていた元寇防壁の石や糸島半島の石などが使われました。現在、城跡は舞鶴公園として整備され、天守台は展望台になっています。

【交通】地下鉄「赤坂」「大濠公園」下車徒歩8分
【住所】城内1
【問い合わせ】福岡城むかし探訪館☎732-4801 FAX:732-4802
メールtanboukan@fukuokaijyo.com / HP:http://fukuokaijyo.com/【トイレ】有



C 赤坂コース 周辺散策ポイント

C-05 FFG本社ビルパブリックガーデン

樹齢300年のケヤキに四季の花々、博多織をモチーフにした柄の天井やベンチ、福岡の風景を刻み込んだ床石など、見どころいっぱい場所です。高さ10mと6mの2対が一体となって構成された彫刻「ダブルファンタジー」は、太陽光の当たり具合でいろいろな表情を見せてくれます。

【交通】地下鉄「大濠公園」徒歩5分・西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」下車すぐ
【住所】大手門一丁目8-3



C-06 下之橋御門

福岡城跡の堀に架かる下の橋を渡った所に立つ門です。平成20年に、江戸時代の姿の二層楼門として復元されました。福岡城は敵から攻められたことはありませんが、明治6年に農民一揆が起こり、当時城内にあった福岡県庁に一揆勢が攻め入った時に竹槍や鎌で突いた傷跡が門に残っています。

【交通】地下鉄「大濠公園」下車徒歩4分
西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」下車徒歩2分



C-07 廣田弘毅銅像

大名小学校出身の廣田弘毅は、福岡県出身者で初めて総理大臣になった人物です。昭和11年3月、2.26事件の後を受け形で就任しましたが、軍部の横暴に抗せられず、10か月余りで総辞職しました。ちなみに文化勲章は、彼が総理在任中に創設したものです。

【交通】西鉄バス「福岡城・NHK放送センター入口」下車徒歩2分
【住所】(緯度経度)33° 34'56.6"N / 130° 22'47.0"E



C-08 福岡市美術館の彫刻群

大濠公園の一角にある福岡市美術館。古美術から近現代美術までの幅広いコレクションは、1万4千点余りを数えます。「市民に親しまれる開かれた美術館」を象徴する屋外彫刻や多彩なイベント、常設展示室のギャラリートークも毎日行われています。これらの活動や資料整理など、美術館を各分野で支えているのは、100人を超える市民ボランティア。新たな芸術文化の創造を願って、日々研さんを積んでいます。

【交通】西鉄バス「福岡市美術館東口」下車徒歩3分【住所】大濠公園1-6
【問い合わせ】☎714-6051 / FAX714-6145
HP:http://www.fukuoka-art-museum.jp/
【利用時間】9:30～17:30(入館は17:00まで) / 7～8月は19:30まで開館(入館は19:00まで)ただし日曜・祝日を除く【休日】毎週月曜日(ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、その後の最初の平日が休館)12月28日～1月4日【トイレ】有



C-09 大濠公園日本庭園

伝統的な日本庭園の作庭技法による古典美を基調としつつ、近代性も盛り込んで作庭された庭園です。水と緑の中で四季折々の風情ある散策を楽しめます。日本庭園には石が重要な意味を持って配置されますが、この庭園にもたくさんの石が使われています。

【交通】西鉄バス「福岡市美術館東口」下車徒歩4分
【問い合わせ】日本庭園窓☎741-8377
HP:http://www.ohorikouen.jp/garden/index.html
【利用時間】9:00～17:00(入園は16:45まで) ※16・7・8月19:00～18:00(入園は17:45まで)
【入園料】大人240円/小人120円
【休日】毎週月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)、12月29日から1月3日まで



C-10 万葉歌碑(大濠公園島島)

しろたへの 袖の別れを難(かた)みして 荒津の浜に やどりするかも(あなた)とこのまま離れてしまうのが惜しいので、荒津の浜で一夜の宿を取ってしまいました。当時この辺りは博多湾の入江でした。これから都に帰る、あるいは中国大陸に渡る者が見送りに来た人との別れを惜しむ、切ない心を詠んだ歌です。

【交通】西鉄バス「福岡市美術館東口」下車徒歩13分



C-11 浮見堂

この浮見堂はもともと、昭和8年に東公園に開園した市動物園のオットセイ池に立っていました。戦争の影響によりわずか11年の歴史で閉園する際、動物は殺され施設も取り壊されましたが、この浮見堂だけはもったいないということで残され、後に大濠公園に移築されました。

【交通】西鉄バス「福岡市美術館東口」下車徒歩15分



C-12 万葉歌碑(西公園参道入り口)

草枕 旅行く君を 荒津まで 送りぞ来ぬる 飽き足らねこそ(旅立つあなたを荒津まで見送りに来てしまいました。いつまでも残りです。)

【交通】西鉄バス「大濠公園」下車すぐ
【住所】(緯度経度)33° 35'25.6"N / 130° 22'31.6"E



C-13 浄念寺

この辺りには圓應寺(えんのうじ)、正法寺(しょうぼうじ)、浄念寺、徳栄寺といった江戸時代初期からの由緒ある寺院が並びます。浄念寺には、福岡藩に処刑された空誓上人(くうしようにん)を祭る堂や、享保の大飢饉(P24-E-08参照)の餓死者供養塔があり、遠い歴史に思いをはせることができます。

【交通】西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」下車徒歩3分・地下鉄「大濠公園」下車徒歩8分【住所】大手門二丁目2-6【問い合わせ】☎751-2908



C-14 黒田家別邸跡碑

明治になって、旧福岡藩主の黒田家が敷地約3千坪の別邸を構えた場所です。福岡城内の門や櫓(やぐら)もいくつか敷地内に移されて豪壮な構えでしたが、昭和20年の福岡大空襲で焼失しました。碑に書かれた「濱町」はこの辺りの旧町名。町の北側が海岸で、美しい砂浜が続いていたことからその名が付けられました。

【交通】地下鉄「赤坂」下車徒歩4分・西鉄バス「法務局前」下車徒歩2分



C-15 大隈言道墓碑

江戸後期の歌人、寛政10(1798)年、福岡薬師の商家に生まれました。39歳の頃和歌に生きることを選び、家業を弟に譲り今泉に隠遁した。この庵は「池岸(ちひよう)堂・「ささのや」と呼ばれ、現在の今泉公園辺りにあったという。明治になり佐々木信綱らの顕彰運動によって、評価が定まった。歌集に「草径集」がある。今泉公園には歌碑が建つ。

【交通】西鉄バス「薬師二丁目」下車徒歩3分【住所】警固一丁目5-23 香正寺

